

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【公表番号】特表2005-531967(P2005-531967A)  
 【公表日】平成17年10月20日(2005.10.20)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-041  
 【出願番号】特願2004-517121(P2004-517121)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 B      7/26      (2006.01)**

**H 0 4 B      1/04      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B      7/26      1 0 2

H 0 4 B      1/04                  E

【手続補正書】  
 【提出日】平成18年6月16日(2006.6.16)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項1】

適切に調整された現在の個別の送信電力によって達成できる個別の品質係数に適合する特定の所定の所要エラーレートを有する種々の多重化されたサービスの組を、受信時の大域的な品質係数に対応した大域的な送信電力で、同時に送信する伝送システムにおいて、所与のサービスについて、前記特定の所定の所要エラーレートと測定された現在のエラーレートとの間の差の推定値に関して前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップを含む、資源を最適化する方法。

【請求項2】

前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップが、前記サービスの送信中に繰り返しまたはパンクチャされるべきビット数に関連し、前記サービスに関連付けられたレートマッチングパラメータを動的に適応させるステップを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記伝送システムが前記種々の多重化されたサービスの組によって通信できるようにされた少なくとも一つの発信機および受信機を含み、

前記受信機に、

初期レートマッチングパラメータを導出し、前記初期レートマッチングパラメータを前記発信機へ送信するため、基準値から前記対応した特定の所定の所要エラーレートに適合する前記個別の品質係数の推定値を決定するステップと、

前記基準値の外挿された更新値を導出するため、所与のサービスの現在のエラーレートおよび前記対応した大域的な品質係数を測定するステップと、

前記更新値から、中間的な大域的な品質係数の推定値、および、前記所与のサービスの前記特定の所定の所要エラーレートに適合する対応した所要の個別の品質係数を導出するステップと、

何れか二つのサービスに対する前記中間的な大域的な品質係数の推定値が異なる場合に、前記ステップによって導出された前記所要の個別の品質係数に基づいて前記レートマッチングパラメータを適応させるステップと、

前記現在のエラーレートが共通の中間的な大域的な品質係数の推定値のための前記特定の所定の所要エラーレートを満たす場合に、前記現在のレートマッチングパラメータを格納する最終ステップと、

前記現在のエラーレートおよび前記対応した大域的な品質係数を測定するステップへ戻るステップと、  
を含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

適切に調整された現在の個別の送信電力を必要とする品質係数に関連付けられた特定の所定の所要エラーレートを有する特定のトランスポートチャネルでブロック符号化データを運ぶ種々の所定のサイズのトランスポートデータブロックの組により構成された種々の多重化されたサービスの組を、大域的な送信電力で、同時に送信する伝送システムにおいて、

前記トランスポートデータブロックの前記所定のサイズに関して前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップを含む、  
資源を最適化する方法。

【請求項 5】

前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップが、前記サービスの送信中に繰り返すまたはパンクチャされるべきビット数に関連し、前記サービスに関連付けられたレートマッチングパラメータを符号ブロックサイズの変更時に動的に適應させるステップを含む、  
請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記サービスに関連付けられたレートマッチングパラメータを符号ブロックサイズの変更時に動的に適應させるステップが、

トランスポートデータブロックの組内で、所定の範囲内だけで異なる品質係数に関連付けられたトランスポートデータブロックを含むグループを決定する準備ステップと、

前記グループの関連付けられた品質係数に対応した所定のルールに関して前記レートマッチングパラメータを計算するステップと、  
を含む、  
請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップが、前記特定の所定の所要エラーレートに適合する個別の品質係数を導出するため、前記トランスポートデータブロックに関連した符号ブロックサイズ符号化利得を推定するステップを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

適切に調整された現在の個別の送信電力によって達成できる品質係数に適合する特定の所定の所要エラーレートを有する種々の多重化されたサービスの組を大域的な送信電力で同時に送信する発信機および受信機を備えた伝送システムであって、

所与のサービスについて、前記特定の所定の所要エラーレートと測定された現在のエラーレートとの間の差の推定値に関して前記現在の個別の送信電力を平衡化する方法を含む、  
資源最適化方法を備えた伝送システム。

【請求項 9】

適切に調整された現在の個別の送信電力によって達成できる品質係数に適合する特定の所定の所要エラーレートを有する種々の多重化されたサービスの組を大域的な送信電力で同時に送信する発信機および受信機を備えた伝送システムにおいて、

所与のサービスについて、前記特定の所定の所要エラーレートと測定された現在のエラーレートとの間の差の推定値に関して前記現在の個別の送信電力を平衡化する方法を含む、  
資源最適化方法を備えた受信機。

【請求項 10】

適切に調整された現在の個別の送信電力によって達成できる個別の品質係数に適合する特定の所定の所要エラーレートを有する種々の多重化されたサービスの組を、受信時の大

域的な品質係数に対応した大域的な送信電力で、同時に送信する伝送システムにおける受信機のためのコンピュータプログラムであって、

所与のサービスについて、前記特定の所定の所要エラーレートと測定された現在のエラーレートとの間の差の推定値に関して前記現在の個別の送信電力を平衡化するステップを含む、資源を最適化するためのコンピュータプログラム。